

基本目標等一覧			資料1追加資料（5/18）	
No.	基本目標	市の方向性	主な現状	課題
1-1	こども・若者が意見を表明し、その意見が尊重され、社会づくりに反映される	こども・若者等が年齢や立場にかかわらず安心して意見を表明できる機会を確保するとともに、その声を施策に反映させる仕組みづくりを進めます。	子どもが基本的人権の享有主体として最大限尊重される社会を目指して、人権尊重思想の普及を図るため、啓発を推進します。 人権教育の大切さを啓発するとともに、道徳教育の推進等により、道徳性の向上を図ります。 子どもや保護者が気軽に相談できるよう、専門相談員による相談など、相談窓口の充実を図ります。【柏市人権擁護指針】	✓こどもの権利や、意見聴取について、理解・周知が十分でない状況です。 ✓こども・若者、子育て当事者が、安心して意見が言える場をつくる必要があります。 ✓市においても、こども・若者の意見聴取の機会の創出に取り組み、その反映に努めることが重要です。
1-2	多様な遊びや体験を通じ、今を幸せに生き、自分らしく成長し、成長できる場がある	多様な遊びや体験を通じて、自分らしく成長できるよう、機会の充実を図ります。	市内外にある各機関と連携・協働し、外国語を体験的に学ぶ機会の充実を図ります。【第3次柏市教育振興計画】 子ども目線の公園づくりや子育て世代の憩える環境づくりを推進する。 【緑の基本計画】（改定中） 社会全体においても男女平等の視点に立った学習ができるよう、学習機会の充実を図り、様々なニーズに応じて学習機会が確保されるよう、開催日時等に配慮し、学習しやすい条件整備や学習プログラムの充実に努めます。 【第4次柏市男女共同参画推進計画】	✓経済状況や家庭環境、障がいの有無などにより体験活動への参加に格差が生じないよう、必要な支援や環境整備に取り組んでいく必要があります。 ✓身近な地域において、年齢や興味関心に応じた多様な遊びや体験の機会や、安心して過ごせる場所が十分に確保されていません。
1-3	誰もが等しく、健やかな育ちと健康な生活を、切れ目なく享受できる体制が整っている	誰もが家庭環境や状況に左右されることなく、妊娠期から成長段階に応じた支援を切れ目なく受けられるよう、関係機関が連携した支援体制の充実を図ります。	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の充実や、母子保健に関する情報の活用を含めた関係機関との連携により、地域で安心した育児ができるように支援します。子育てに関する情報が、子育て家庭はもとより子どもの関わりや関心のある方などにも広く伝わる情報提供体制を作ります。【柏市母子保健事業に関する基本方針】	✓成長段階や個々の状況に応じた保健・医療サービスについて、必要な支援につながりにくいこども・若者が生じないよう、支援へのアクセスの確保を図っていくことが重要です。 ✓心身の不調や発達に関する悩みについて、早期に相談でき、専門的な支援につながる体制や仕組みを充実させていく必要があります。
1-4	困難な状況にあるこどもも希望を持ち、将来の夢に挑戦できる	困難な状況にあるこどもが孤立することなく必要な支援につながり、安心して学びや成長を重ね、将来への希望や夢に挑戦できるよう、居場所の提供や切れ目のない支援体制の充実を図ります。	生活困窮により、こどもの発育・発達及び健康の維持に影響を及ぼさないよう、親の妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援等、生活の安定に資する支援の充実を図ります。 また、社会的に孤立した世帯に対して、相談機能の充実を図るとともに、こども及びその保護者の交流の機会等につながる居場所づくりの提供に取り組みます。【第2期柏市こどもの貧困対策推進計画】	✓支援を必要とするこどもや家庭が、支援制度や相談窓口に関する情報を適切に把握し、必要な支援につながることができるよう、分かりやすい情報提供や周知を強化していくことが求められます。 ✓経済的な困難を抱える家庭のこどもが、学習、体験活動、進学等の機会に十分にアクセスできるように、経済的支援や環境整備を図っていくことが重要です。
1-5	障がいや病気などにかかわらず、個性が尊重され、自分らしく活動できる	障がいや病気などにかかわらず、一人ひとりの個性や特性が尊重され、安心して自分らしく学び、活動し、社会とつながることができる環境づくりを進めます。	障がい児や発達支援の必要な児童を早期に発見し支援につなぐため、幼児健康診査を始めとする母子保健事業を推進するとともに、支援が必要な児童や家族については、障がい児支援の中核となる児童発達支援センターに速やかにつながり、センターが中心となって関係事業所と共に適切な支援を提供します。また、研修等の実施を通じて、児童やその家族への支援を提供する職員のさらなる資質向上に取り組めます。 共生社会の実現に向けて、障がいの有無にかかわらず通常の学級、特別支援学級、小中学校と特別支援学校との交流及び共同学習に取り組む。【ノーマライゼーションかしわプラン2024】	✓障がいや病気の特性に応じた合理的配慮や支援が、教育、地域活動、社会参加の各場面において適切に行き届くよう、環境整備や支援体制を強化していくことが求められます。 ✓周囲の理解不足や偏見により、こども・若者が自らの力を十分に発揮できる機会が制限されることのないよう、理解促進や意識啓発を進めていく必要があります。 ✓医療、福祉、教育、就労支援などの関係機関が連携し、成長段階に応じた切れ目のない支援につながるよう、支援体制の強化を図っていくことが重要です。
1-6	虐待を受けることなく、家庭で困っている子が支援につながるができる	虐待を未然に防ぎ、家庭で困難を抱えるこどもを早期に発見し、安心して必要な支援につながるができる体制の充実を図ります。	児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応のため、関係機関との連携の強化や児童相談所の設置に向けた取り組みを推進します。 【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】 児童虐待やヤングケアラー等、家庭生活において困難を抱えている児童生徒について、スクールソーシャルワーカーを活用し、他機関とのスムーズな連携を行います。【第3次柏市教育振興計画】	✓児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を確実に行うため、母子保健、福祉、教育、医療等の関係機関が日常的に情報共有し、切れ目なく支援につなげる連携体制を一層強化していくことが求められます。 ✓虐待や家庭環境の影響を受けたこども・若者が、就学の継続や進学、将来の自立に向けた支援を途切れなく受けられるよう、学校と福祉等の関係機関が連携した継続的な支援を充実が重要な課題となっています。
1-7	犯罪や災害から守られた安全な環境のもと、安心して日々の生活を送ることができる	犯罪や災害のリスクからこども・若者を守り、地域や関係機関が連携して安全対策を進めることで、安心して日々の生活を送ることができる環境づくりを推進します。	悩みを抱えた子どもが、その悩みを抱え込まずに相談ができる「SOSの出し方」に関する教育を推進するとともに、そのSOSを受け止める側である教員及び保護者に向けて「SOSの受け方」について啓発を行い、悩みを抱え込まずに身近な方に話することができる環境を、子ども及び教員並びに親の双方から整えていきます。【第2次柏市自殺対策計画】 ICT機器の基本操作やGoogleの主要ツールの操作方法等を小中学校の9年間で体系的に習得することができるように「柏市情報リテラシー育成カリキュラム表」を作成。各校において確実に実施されるよう指導・助言している。【柏市学校教育情報化推進計画】	✓犯罪や災害等の危険からこどもを守るため、学校、地域、関係機関が連携し、防災教育等を通じて、こども自身が危険を察知し、適切に行動できる力の育成に取り組んでいくことが求められます。 ✓悩みや不安を抱えるこどもがSOSを出しやすく、それを確実に受け止められるよう、学校や家庭、地域における相談体制や見守りの仕組みを充実させ、安全性の高い環境を整備を図っていくことが重要です。 ✓いじめ、犯罪被害、災害、インターネット上のリスクなど多様な危険からこどもを守るため、情報リテラシー教育や人権意識の醸成を進めるとともに、専門職や関係機関が連携した継続的な支援体制を構築が重要な課題となっています。
2-1	安心してこどもを産み育てられ、こどもと家庭が尊重される支援がある	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を通じて、安心してこどもを産み育てられるとともに、こどもと子育て当事者が尊重される支援体制の充実を図ります。	働きながら子育てをしている職員に対する支援制度の利用を促進するとともに、その周囲の職員を含めた働きやすい職場環境を整備することで、職員間での助け合いの風土を醸成していきます。 【次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく柏市特定事業主行動計画】 ひとり親が仕事と子育てを両立しながら経済的に自立するとともに、こどもが心身ともに健やかに成長できるよう、総合的かつ計画的に施策の展開を図っていきます。【第4期柏市ひとり親家庭等自立促進計画】	✓仕事と子育ての両立しやすい環境を整えるため、保育サービスや多様な子育て支援の充実、育児休業等の制度周知、就労支援の強化を通じて、保護者が安心して働き続けられる基盤づくりが重要です。 ✓子育てに伴う不安や孤立感を軽減するため、地域における相談支援体制や見守りの仕組みを充実させるとともに、家庭の状況に応じたきめ細かな支援を行うことが課題となっています。 ✓出産、子育て、教育に係る経済的負担を軽減するため、幼児教育・保育の無償化や就学援助、ひとり親家庭への支援等の制度が必要な家庭に確実に届くよう、分かりやすい情報提供と利用促進が必要です。
2-2	地域社会全体が「こどもまんなか」の視点をもち、共に育ちを支え合う	地域社会全体がこどもまんなかの視点を共有し、行政・地域・関係機関が連携して、こどもと家庭の育ちを共に支え合う環境づくりを進めます。	子育てに関する情報が、子育て家庭はもとより子どもとのかかわりや関心のある方などにも広く伝わる情報提供体制をつくります。また、子育てについて相談しやすい体制を充実させます。 【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】 子育て家庭が孤立することなく、育児に安心してゆとりを持って親としての役割が発揮できるよう、まち全体で、子ども同士が育ち合い、保護者も共に支え合う仲間作りや学び合いができる場、また時には親子でほっとひと息つける場の充実を図ります。また、まちへ踏み出す親子を温かく迎え入れる環境づくりを進めます。 【柏市母子保健事業に関する基本方針】 保護者・親子が集まり、仲間を作ったり、学びあったりできる機会の提供等の取り組みにより、子育ての不安や悩みを解消できる環境づくりを進めます。【第4次柏市生涯学習推進計画改訂版】	✓子育てに関する情報や相談支援が、子育て家庭だけでなく、地域の人々にも広く行き渡るよう、分かりやすい情報提供と身近で相談しやすい体制を充実させ、地域と家庭をつなぐ仕組みを強化していくことが求められます。 ✓子育て中の保護者が孤立感や不安を抱え込むことなく、地域の中で仲間づくりや学び合い、安心して過ごせる場につながるができるよう、親子の居場所づくりや交流の機会を地域全体で充実を図っていくことが重要です。 ✓家庭や地域が抱える複合的な課題を早期に把握し、切れ目のない支援につなげるため、地域と行政が協働して子育てを支える体制を構築することが必要です。